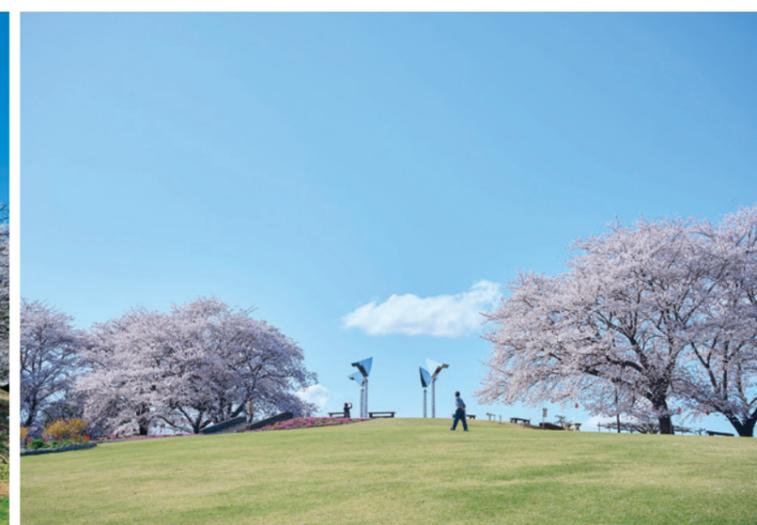


花であふれる藤岡の春
美しい光景と出会うトキメキ

藤岡の春は、1年でもっとも美しい季節といえるかもしれません。まちを歩けば、至る所で花があふれ、3月から6月まで花のリレーは続いていきます。先陣を切るのは、サクラです。ふじの咲く丘、七輿山古墳、白石稲荷山古墳、鮎川サイクリングロード、土と火の里公園、竹沼、桜山公園…と、市内にはサクラの名所が数多く点在します。サクラが終わると、ふじの咲く丘で出会うフジの花。6月になれば、八塩あじさいの里でアジサイ鑑賞をしながら、「八福神めぐり」が楽しめます。



八塩あじさいの里

八塩温泉周辺に約5,500株のアジサイが咲きます。毘沙門天や弁財天など「八福神」を巡る散策コースもあります。



花と緑がつなぐ
人と人、笑顔のリレー

冬と春に2度咲く「フユザクラ」は、藤岡市の花です。桜山公園には7千本のフユザクラと3千本のソメイヨシノがあり、冬と春にお花見ができます。サクラ、ツツジ、ツバキ、紅葉とフユザクラ、ロウバイと桜山公園の1年も花のリレーが続きます。

藤岡市では、市民と行政の協働によるまちづくりの取り組みの一つとして、「花と緑と笑顔あふれるまちづくり事業」をスタートしています。ふじの咲く丘にある市民大花壇を総勢119人のボランティアとともに、パンジーやナデシコなど3200株の花苗で埋め尽くしました。花植えを通して、人々が交流し、自然に会話と笑顔が生まれる活動を今後も継続していきます。

1	2
3	4
5	6

- 1・七輿山古墳
- 2・ふじの咲く丘
- 3・白石稲荷山古墳
- 4・竹沼
- 5・白石稲荷山古墳
- 6・鮎川サイクリングロード

桜山公園の一年

